

概要

日本とアジア大洋州の各国・地域との間で、二国間・地域間関係の発展や対外発信において、将来を担う人材を招へい及び派遣、又はオンライン交流を通じて、政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、未来の親日派・知日派を発掘する。また、日本の外交姿勢や魅力等について被招へい者・被派遣者にSNS等を通じて積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充する。

- 対象者：【招へい、オンライン交流】高校生～社会人等，【派遣】高校生～大学院生等
- 招へい・派遣期間：10日間程度（一部オンライン交流含む）
- 規模：約2,000人(令和3年度当初予算)

対日理解の促進・親日派・知日派の発掘

対外発信の強化

外交基盤の拡充

事業の実施形態

日本政府
(事業方針に沿って推進)
(拠出金支出)

国際機関等
(事業の実施団体を選定・委託)
(拠出金管理)

実施団体等
(プログラムの企画・実施)

過去3年の実績(事業名、規模、参加者による対外発信数)

JENESYS2018 約4,500人(平成30年度)、41,401件

JENESYS2019 約2,700人(令和元年度)、22,837件

JENESYS2020 約3,000人(令和2年度)、5,724件 (令和3年5月時点オンライン交流実績)